

# 福寿園だより

Vol. 65

平成28年4月10日発行



- ◆特別養護老人ホーム福寿園…………… 定員100名  
(うちショートステイ20名)
- ◆ケアハウスさくら荘…………… 定員30名
- ◆福寿園デイサービスセンター…………… 定員42名  
(うち認知症12名)
- ◆福寿園ヘルパーステーション
- ◆福寿園居宅介護支援センター
- ◆原町東地域包括支援センター

編集  
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-70

TEL (0244)25-2811

FAX (0244)25-2812

URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>

MAIL [fukujuen@chive.ocn.ne.jp](mailto:fukujuen@chive.ocn.ne.jp)



福寿園・さくら荘施設長

大内 敏文

東日本大震災から丸5年を迎えた先月11日、各地で追悼の行事が行われ、当福寿園でも14時46分、地震や津波、原子力災害の犠牲になった人々に哀悼の祈りを捧げました。しかし、この5年で震災も原発事故も少しずつ忘れ去られようとしているように思われます。

当福寿園の待機者は、震災前230人ほどでしたが、現在480人となり、入所を待つ方は年々増加しております。特別養護老人ホームの入所順位は、各施設3か月ごとに待機者の状況から順位を付け、施設職員と外部委員で構成する入所検討委員会において決定することになっています。3月に開催した入所検討委員会に提出された男性の上位待機者10人の中に、原発事故により避難を余儀なくされ、他県の病院や福祉施設を利用しながら申し込みをしている高齢者が3人含まれておりました。

丸5年が経過した今も、相双地域で生まれ育った80、90歳代の高齢者が故郷に帰れない現実が続いているのです。仮設住宅の高齢者へのインタビューで、「仮設では死にたくない」との言葉は、心の底からの叫びに聞こえ、胸が締め付けられます。

1日も早い故郷への帰還を願い、本日の復興が訪れるよう努力してまいります。

### クラブ紹介

#### ◀ 歌の集い ▶

毎月第2水曜日に南地区福祉委員会様にご協力をいただき、歌の集いを行っています。童謡、歌謡曲、演歌等を楽器（タンバリン・鈴・マスカラ）も交えながら楽しく唄っています。



#### ◀ お茶会 ▶

毎月1回、「カラオケ」で歌うことが大好きな方と歌わないけれども聴くことが楽しみな方とでお茶会を開いています。参加率が高い行事なので新年度も継続してまいります。

3月3日(木)、琴名流大正琴「ひまわり会」様より雛祭りに合わせ、「うれしいひな祭り」を、他にも「さざんかの宿」「北国の春」等のなじみの曲を披露いただき、ご利用者の皆さんは大正琴の音色に癒されつつ、歌を口ずさんでいました。

#### ＊ 雛祭り

## ケアハウス さくら荘



### 特別養護老人ホーム 福寿園

### ケアハウスさくら荘 福寿園デイサービス

2月3日は「節分(せつぶん)」。節分とは「季節の変わり目」を意味します。昔は、「せち分かれ」といって、立春・立夏・立秋・立冬の、季節の始まりの日の前日を節分といいましたが、現在では冬から春になる立春の前日の2月3日だけが「節分」として残りました。悪いものを追い出して、素晴らしい春を迎えるために、春の節分だけが行事として残ったと言われています。

さて、節分には欠かせない豆まき。豆をまく理由は諸説ありますが、豆には邪気を払う力があり、季節の変わり目には鬼が出ると言われていたため、豆の持つ「邪気払いの力」を頼りにしたと考えられています。また、必ず「炒った豆」を使うのは、「豆=魔目」を「炒る=射る」ことで鬼をやっつける意味があります。

## 豆まき



### 平成28年度の抱負

暖かい季節と共に、新年度が始まりました。原町東地域包括支援センターも新体制でスタートします。どうぞよろしくお願い致します。

さて、私たちのセンターが、どのような仕事をしているのかをご存じの方は地域にどの位いらっしやるでしょうか？また、私たちは地域の方々にどれだけ知られているのだろうか？と感じる事があります。私たちは、主に高齢者に関する相談窓口として、南相馬市より委託を受け、事業を行っています。南相馬市には4か所の地域包括支援センターが設置されており、鹿島区・小高区に各1か所、原町区は地域を2か所に分けて設置されています。

当センターの担当地区は、  
 栄町・旭町・青葉町・錦町・桜井町・日の出町・高見町・二見町・上町・西町・三島町・大町・東町・仲町・上渋佐・下渋佐・大甕地区・高平地区

です。その他の地区は原町西地域包括支援センター(社会福祉協議会内)が担当となります。  
 高齢者に関する相談等がございましたら、お気軽に左記の連絡先にお電話下さい。

☎ 0244-24-3390

こんにちは

## 原町東地域 包括支援センター

です!

**笹原めぐみ** 福寿園に入職して一年が過ぎました。高校を卒業し、社会を知らない私に優しく指導して下さい先輩職員には感謝の気持ちでいっぱいです。入職した当初は業務を覚える事で精一杯でした。しかし今ではご利用者との関わりを持つ時間が増えています。ご利用者と何気ない会話をすることが楽しく、名前を呼んで頂けるととても嬉しいです。介護は大変な仕事だけれど毎日が充実していて、この職業を選んで良かったです。あっという間に過ぎてしまった一年ですが、経験させていただいた事を活かし、これからも知識を増やしてご利用者のお役に立てるよう頑張っていくと思います。

**青木 沙樹** 一年を振り返って、この仕事は自分にあっているのだろうかと不安になる事が沢山ありました。誰かの役に立ちたいという思いで入職しましたが、想像していたより大変な毎日でした。ご利用者との関わり方・業務内容に追いつかず、日々勉強でした。未だに教わる事・学ばなければならぬ事がありますが、ご利用者から「ありがとう」と言葉を掛けられると、今まで頑張ってきたよかったです、これからも頑張っていくという気持ちになります。今ではこの仕事にとってもやりがいを感じています。



**特養職員 … 一年を経験して**

**時杉 唯** 小さい頃から誰かの役に立ちたいという思いが強く、介護の仕事を選びました。介護の仕事を選んだ時に友人に「介護って大変な仕事なのによく選んだね。」と言われました。実際私も続くだろうか不安に思うことばかりでした。しかし、働いてみると大変だと思うことはもちろんありますが、その反面、ご利用者から「ありがとう」と言われた時に「この仕事を選んで本当に良かった」と心の底から思います。早くも入職してから一年が経ちます。先輩方には、いつも迷惑をかけてばかりですが、これからも笑顔で頑張っていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

**大須賀浩美** 福寿園に入職し、早一年が経ちました。業種が違う介護職に転職して最初は仕事の内容を覚えるだけで精一杯。ご利用者一人ひとりの状態まで把握することができませんでした。しかし徐々に仕事にも慣れ、楽しさを感じる事ができるようになりました。ご利用者から温かい言葉を頂くと励みになります。日々勉強の連続で、覚える事がたくさんあります。先輩職員に助けられ、励まされてきた一年でした。まだまだ知識も技術も無い私ですが、向上心を持って業務に取り組み、少しでも多くのご利用者に笑顔で接していきたいと思ひます。



4月1日(金)に今年度新たに入職された新人職員の辞令交付式を執行了しました。  
舟山理事長より、新人職員6名への辞令が交付された後、新人職員に向け訓示を頂きました。  
辞令を交付された新人職員は、これから配属先の施設でそれぞれ活躍することと期待しています。

平成28年度  
**辞令交付式**

各サービスマネジメント能力の向上」があります。関係機関とも連携を密にし、状況に変化が生じた時にも早急に対応できるように努めて行きたいと思ひます。また、外部の研修会への参加や事業所内での勉強会等に取り組み、日々の業務にフィードバックさせていきたいと考えています。今後一層、ご利用者、ご家族等との信頼関係を大切に、住み慣れた環境で望む生活を実現し、在宅での生活が継続できるようお手伝いしたいと思ひますので、お気軽にご相談ください。

居宅介護支援センターは2月に新しい管理者を迎え、3人体制で新たなスタートを切りました。当事業所は、1名の主任介護支援専門員が在籍し、主任介護支援専門員の配置及び特定事業所の指定を受けた事業所です。週1回、ご利用者に関する会議を行い、中重度者や支援困難ケースへの対応も行っています。さて、今年度の当事業所の重点目標の中に「関係機関との連携強化」、「専門職としてのスキルアップとケアマネジメント能力の向上」があります。

新年度に向けて

福寿園居宅介護支援センター  
**かけはし**

# あぶくま信用金庫の皆さん 窓拭きありがとうございます

2月27日(土)、午前8時50分、お揃いの黄色いジャンパーを着て『あぶくま信用金庫 有志職員』25名の方が、今年もボランティアに来ていただきました。震災前から夏祭りで焼き鳥を焼いたり飲み物の販売等の協力の他に、冬場には窓拭きの協力をいただいています。

今年はインフルエンザ感染予防の為、ご利用者のご家族へも面会を控えていただいていたこともあり、中庭3か所の外窓の窓拭きをお願いしました。毎年来ていただいていることもあり、「今年はその窓を拭かなくてもいいんですか?」と、高窓も脚立を使って手際よく掃除をしていただきました。まさに地域に根差した信用金庫です。ありがとうございました。



## 内部研修会

この度の職員研修会では「看取り介護の実践報告」というテーマで、これまでの看取り介護を実施してきた中で学んだこと、感じたことを報告しました。看取りは臨終だけが大事なのではなく、職員の関わりとしてご利用者とご家族を尊重し、安心・安楽な介護を提供していくこと、すなわち生き切ることを支援する過程が看取り介護と言えます。この機会に自分たちが提供したケアを振り返り、お看取りをしたご利用者に思いを馳せることで、福寿園介護部署のケアの考え方である「ご利用者の貴重な時間に関わりを持たせていただいている。」という言葉の重みを改めて認識しました。

今後も看取り介護についての研修を重ね、自身の死生観を深めるとともに、ご利用者、ご家族に満足していただけるケアの提供に努めていきたいと思ひます。

### 寄付 (12月11日~3月10日)

- ◎鈴木 清信様 (原町区馬場) 寄付金
- ◎北原 茂利様 (原町区雫) 寄付金
- ◎黒木 勝信様 (鹿島区小池) 寄付金
- ◎菅野 邦彦様 (原町区日の出町) 寄付金
- ◎牛来 清治様 (原町区矢川原) 寄付金
- ◎田中 隆雄様 (小高区片草) 寄付金
- ◎齊藤 好一様 (原町区仲町) 寄付金

いつもありがとうございます

### 寄贈 (12月11日~3月10日)

- ◎佐藤 勝彦様 (原町区大町) シルバーカー
- ◎北原セツ子様 (原町区雫) つるし雛
- ◎東京都杉並区井草中学校PTA PTA会長 小美濃智江様 (東京都杉並区) タオル

### ボランティア (12月11日~3月10日)

- \*特別養護老人ホーム福寿園
- ◎神楽舞 氷川神社神楽保存会様
- ◎演奏会 石神民謡会様
- ◎軽介助 栗林由美子様
- \*ケアハウスさくら荘
- ◎歌の集い(第2水曜日) 南地区福祉委員会様
- ◎歌・踊り 石神民謡会様
- ◎琴名流大正琴 ひまわり会様
- \*福寿園デイサービスセンター
- ◎マジック 原町マジック研究会様
- ◎傾聴ボランティア いちご会様

## 編集後記

日差しの暖かさを感じるようになってきましたが、昼夜の気温差が大きい4月。新生活などで環境が変わった方もいらっしゃると思います。体調を崩さないように注意し、春を満喫しましょう。

